



## 操作ガイド

Ver.2.0.2

### 目次

1. バックアップ方式の確認方法 .....	- 2 -
2. 新バックアップ方式について .....	- 3 -
2.1. バックアップ領域 .....	- 3 -
2.1.1. バックアップ領域 — SMB-S コース (SMB-S20/S100/S500/S1000) — .....	- 4 -
2.1.2. バックアップ領域 — SMB-P コース (カスタマイズプラン) — .....	- 7 -
3. 旧バックアップ方式について .....	- 11 -
3.1. バックアップ領域 — SMB-P コース (カスタマイズプラン) — .....	- 11 -

## 1. バックアップ方式の確認方法

SMB-P コースご契約の場合のみ、管理画面にてバックアップの契約情報をご確認頂けます。

※SMB-S コースのお客様は、**1世代バックアップ・日次周期** 固定のため、管理画面の表示はございません。

- ① 管理者権限で WebShare へアクセスし、メニューより「サーバー管理」の「サーバー設定」をクリックします。



### ■新バックアップ方式の場合

新バックアップ方式の場合は、ご契約時に確定したものが表示されます。

サーバー設定		
オプション	ディスク容量[GB]	2000
	アカウント数	20
	バックアップ	あり
	同時接続数	20
ネットワーク	ネットワークアドレス	xxx.xxx.xxx.xxx
	ネットマスク	255.255.255.0
OpenVPN	VPNサーバー仮想IPアドレス	xx.xx.x.x
	VPNネットマスク	255.255.0.0
	DHCP開始IPアドレス	10 . 61 . 0 . 128
	DHCP終了IPアドレス	10 . 61 . 0 . 254
	VPNサーバー名	xxxxx.samba.com
	OpenVPN接続ポート	<input type="radio"/> TCP : 443 <input checked="" type="radio"/> UDP : 1194
個体識別番号認証	認証機能の使用	<input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない
ログ保存期間	ファイルアクセスログ	3ヶ月 ▼
	接続ログ	3ヶ月 ▼
バックアップ	世代数	3
	スケジュール	日次 ※スケジュール変更のご要望はお問い合わせください。
	実行時間帯	00:00 - 04:00
ActiveDirectory	ActiveDirectoryの使用	使用しない
プライベート接続契約	接続種別	OpenVPN

適用      リセット

## ■旧バックアップ方式の場合

旧バックアップ方式の場合、ご契約時に確定した世代数が表示されます。

※バックアップスケジュールは、こちらの画面から変更が行えます。

ログ保存期間	ファイルアクセスログ	3ヶ月 ▼
	接続ログ	3ヶ月 ▼
バックアップ	領域[GB]	200
	世代数	1
	スケジュール	日次 ▼ 日次 週次 月次 指定日数間隔
	実行時間帯	
ActiveDirectory	ActiveDirectoryの使用	

## 2. 新バックアップ方式について

### 2.1. バックアップ領域

SMB-S コース、SMB-P コースにおいて、オプションの「バックアップ領域」をお申込みいただいている場合、データのバックアップを残すことができます。

バックアップについては**管理者のみ**、Web Share・SAMBA Remote・SAMBA Stunnel 接続を利用し、参照することができます。

#### — SMB-S コース (SMB-S20/S100/S500/S1000) —

SMB-S コースにおいて、バックアップ領域は、**1世代バックアップ・日次周期** の固定となります。

バックアップ領域の世代数・周期についての変更はできません。

#### — SMB-P コース (カスタマイズプラン) —

SMB-P コースにおいては、バックアップ領域の世代・スケジュールを設定することができます。

設定変更をご希望の場合は、弊社サポートへお問い合わせが必要となります。

**※2世代以上ご契約のお客様で、2世代目以降のデータが必要な場合は、弊社サポートまでお問い合わせください。**

また、お問い合わせにより取得できる回数を月5回までとさせていただきます。

※バックアップ取得のスケジュール変更をご希望の場合は、弊社サポートへお問い合わせ下さい。

(日次、週次、月次、指定日数間隔のいずれより選択可能)

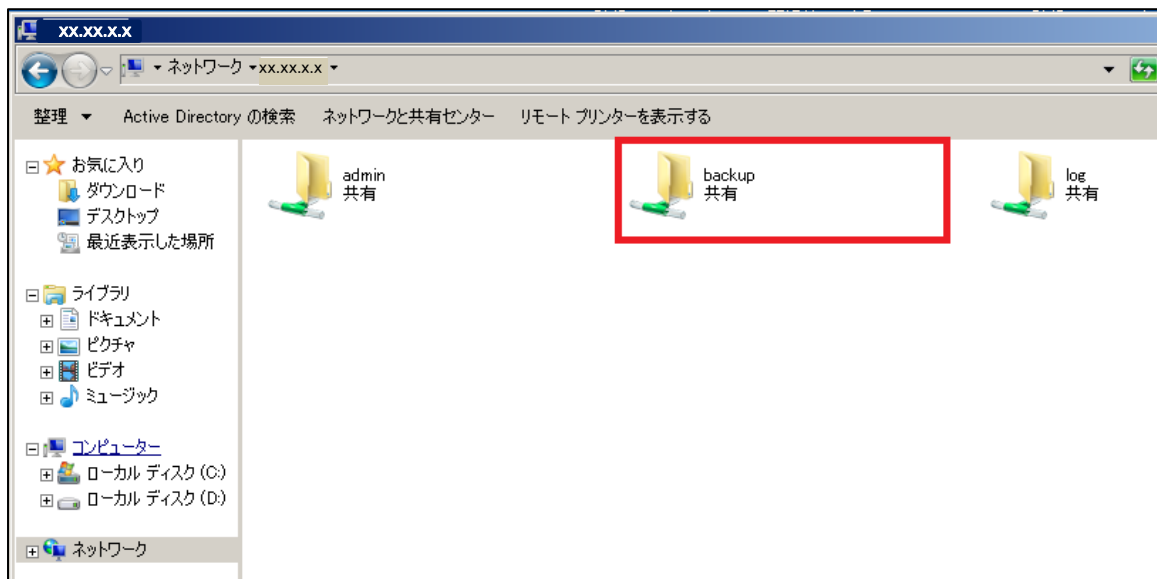
■対応バージョン

・Ver 2.0.9、Ver 2.0.10

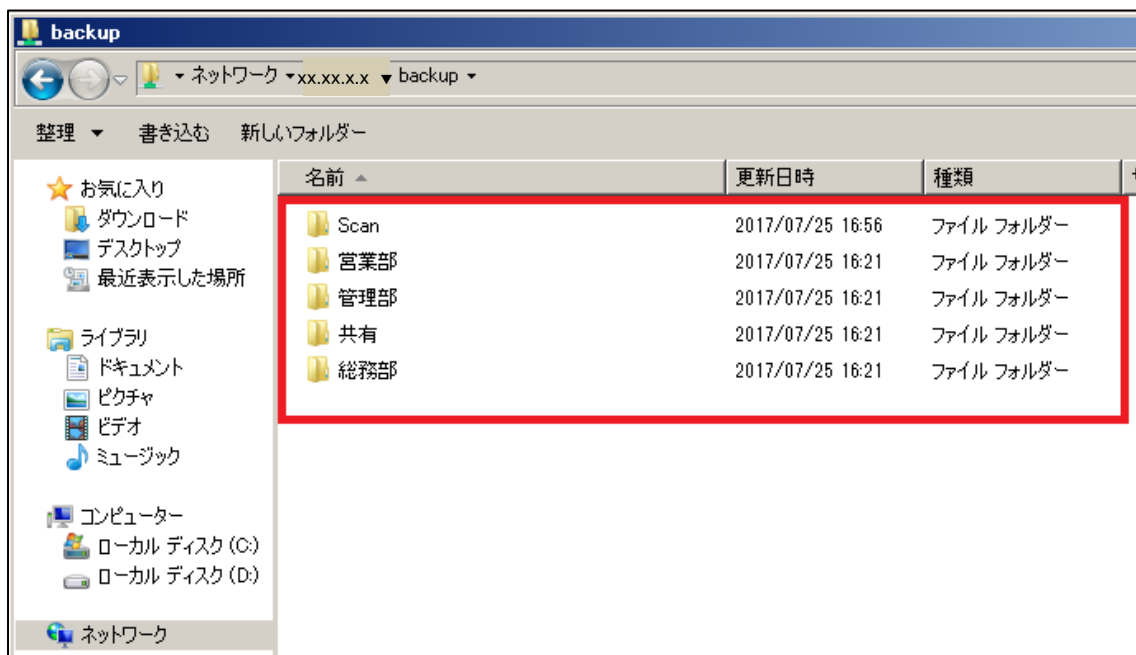
■バックアップデータの確認 (SAMBA Remote/SAMBA Stunnel 接続の場合)

- ① 管理者権限で SAMBA Remote/SAMBA Stunnel 接続を利用し、セキュア SAMBA へ接続をします。  
 ※接続方法については、利用者マニュアル『SAMBA Remote/ SAMBA Stunnel 接続』をご参照ください。

以下のように「admin」「backup」「log」の 3 種類のフォルダが表示されます。  
 「backup」フォルダがバックアップ分となります。



- ② 「backup」フォルダを開くとバックアップデータが表示されます。  
 バックアップが取得されていることを確認します。



## ■バックアップデータの確認（WebShare からの場合）

① 管理者権限で WebShare へアクセスします。

以下のように「admin」「backup」「log」の3種類のフォルダが表示されます。

「backup」フォルダがバックアップ分となります。



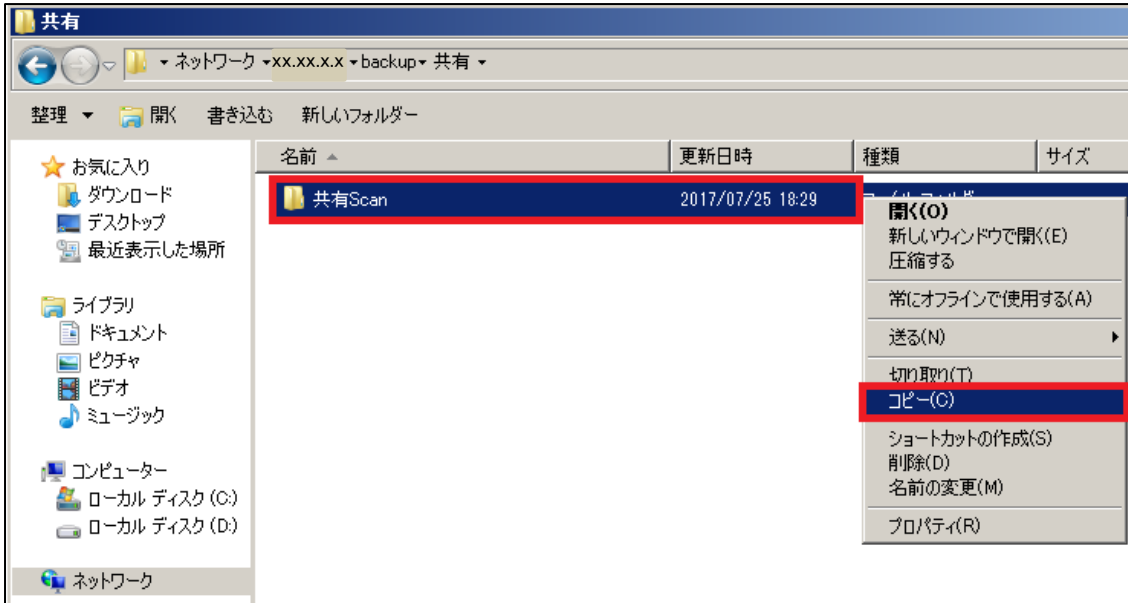
② 「backup」フォルダを開くとバックアップデータが表示されます。

バックアップが取得されていることを確認します。

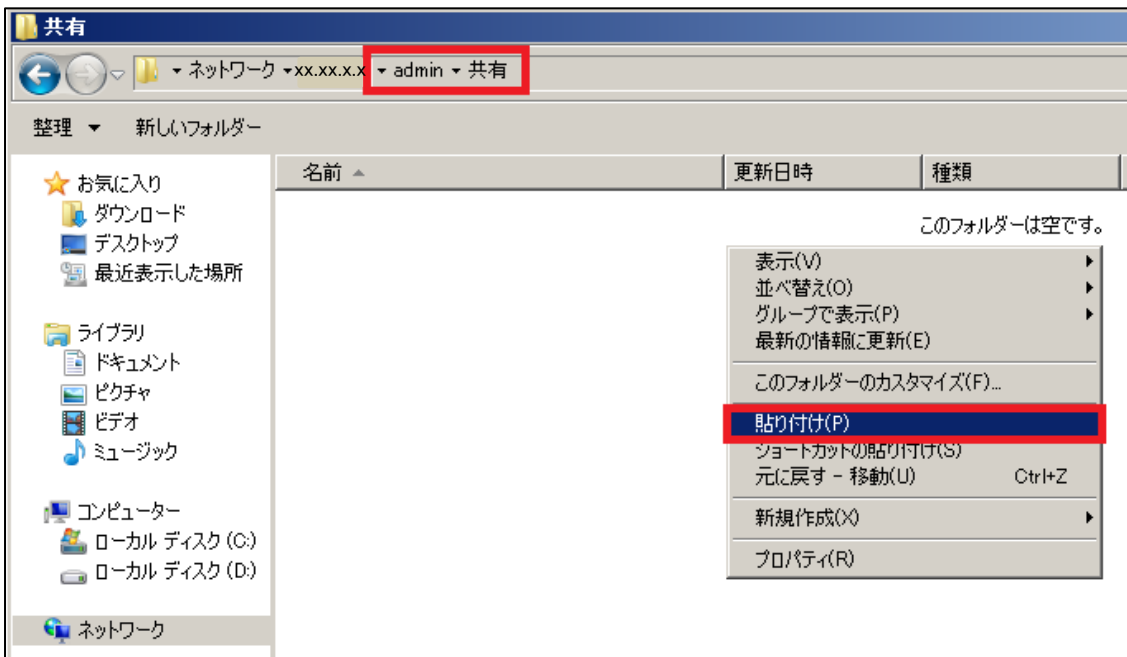


## ■バックアップデータの復元

① backup フォルダより復元をしたいフォルダを選択・コピーを実施します。



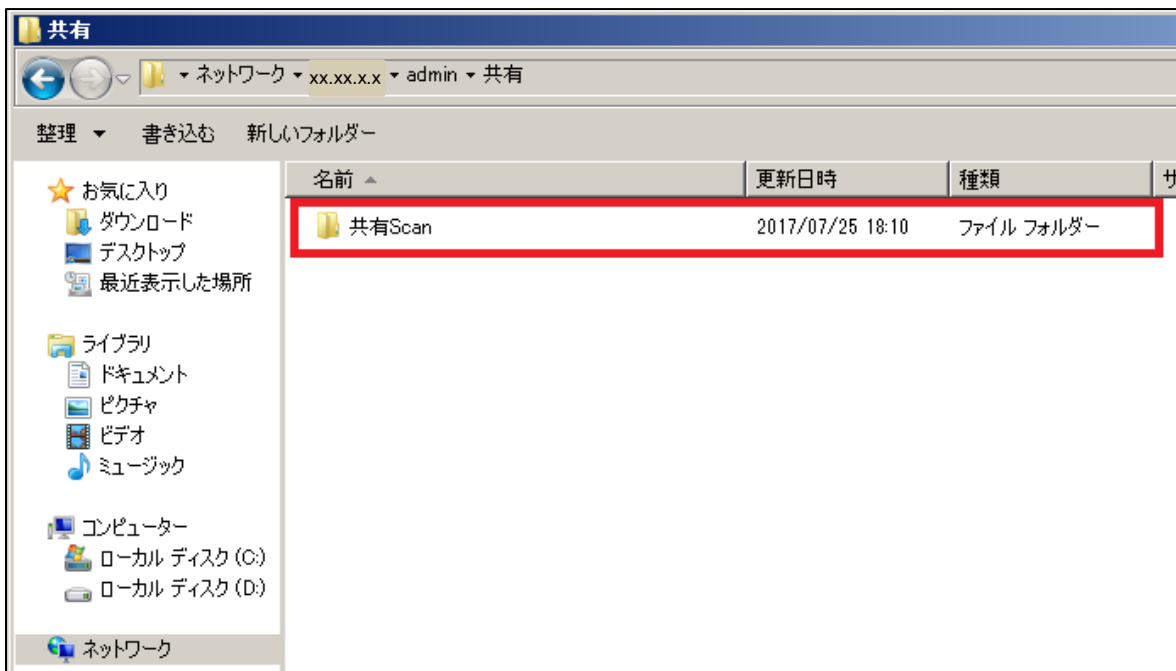
② admin フォルダ配下のフォルダへデータを貼り付けます。



### ※注意事項※

admin フォルダの直下への新規フォルダの作成は、**必ず管理画面上**から行ってください。  
異なる方法で設定した場合、データが通常に保存・バックアップされない場合があります。

③ 必要なフォルダが復元されていることを確認します。



## 2.1.2. バックアップ領域 — SMB-P コース (カスタマイズプラン) —

### ■対応バージョン

Ver.2.0.8 、 Ver 2.0.9 、 Ver 2.0.10

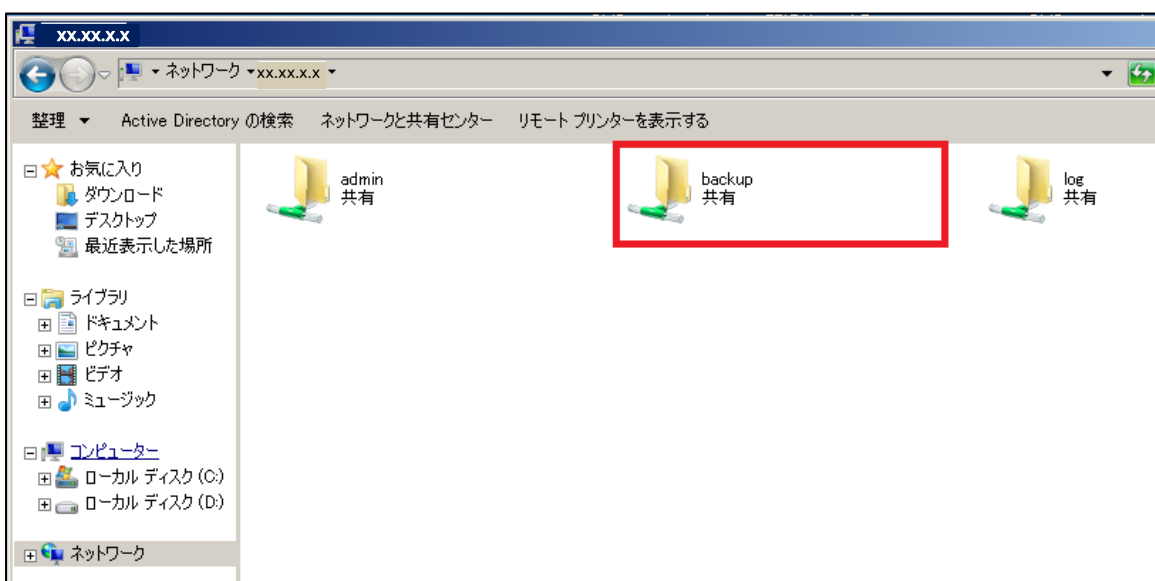
### ■バックアップデータの確認 (SAMBA Remote/SAMBA Stunnel 接続の場合)

① 管理者権限で SAMBA Remote/SAMBA Stunnel 接続を利用し、セキュア SAMBA へ接続をします。

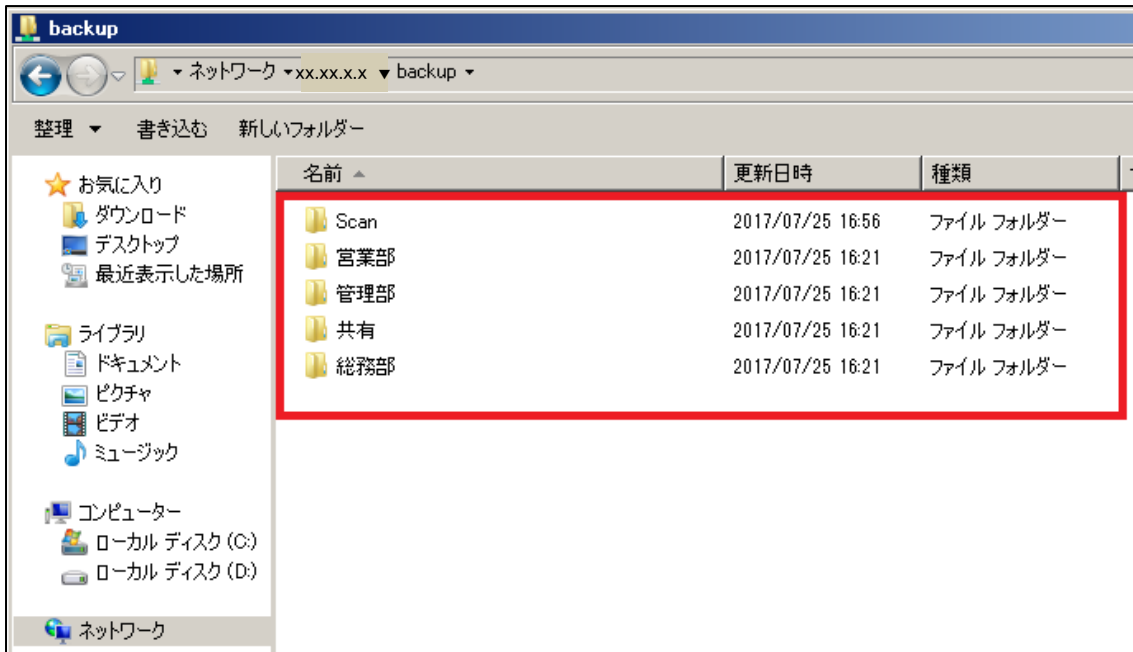
※接続方法については、利用者マニュアル『SAMBA Remote/ SAMBA Stunnel 接続』をご参照ください。

以下のように「admin」「backup」「log」の3種類のフォルダが表示されます。

「backup」フォルダがバックアップ分となります。



- ② 「backup」フォルダを開くと 1 世代分のバックアップデータが表示されます。  
バックアップが取得されていることを確認します。



### ■バックアップデータの確認（WebShare からの場合）

- ① 管理者権限で WebShare へアクセスします。  
以下のように「admin」「backup」「log」の 3 種類のフォルダが表示されます。  
「backup」フォルダがバックアップ分となります。



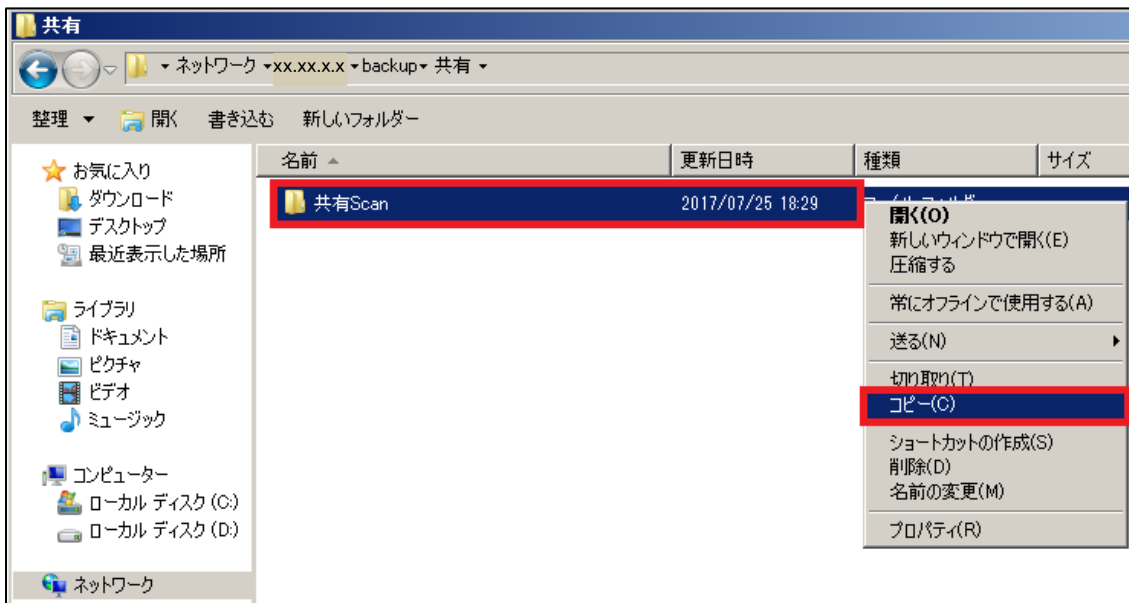


- ② 「backup」フォルダを開くと1世代分のバックアップデータが表示されます。  
バックアップが取得されていることを確認します。

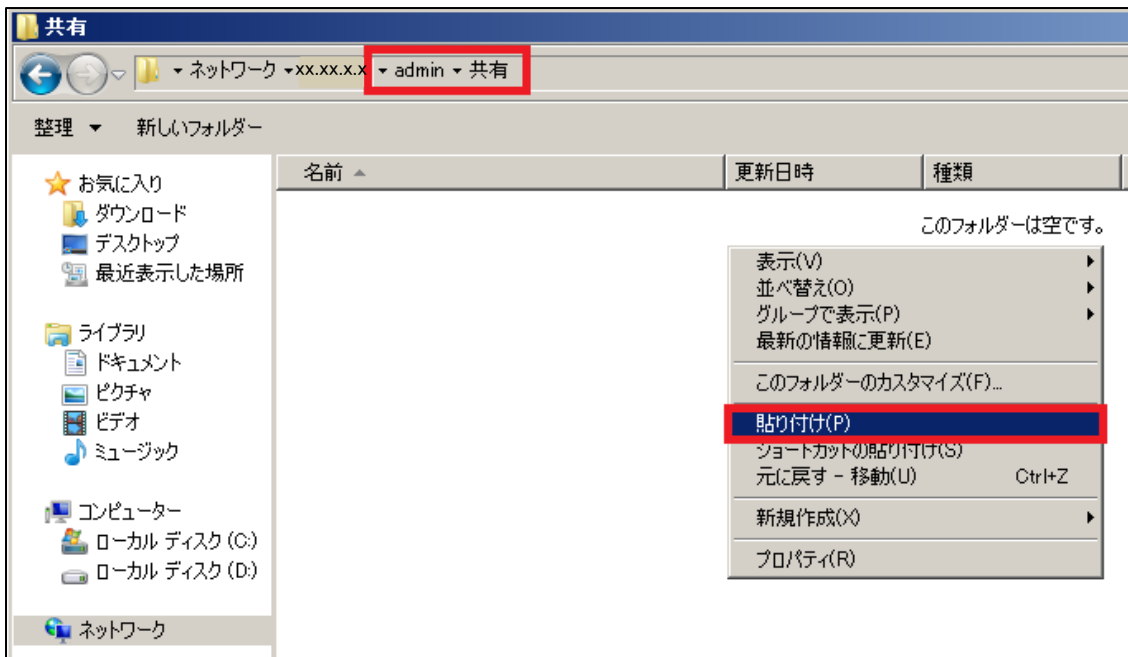


### ■ バックアップデータの復元

- ① backup フォルダより復元をしたいフォルダを選択・コピーを実施します。



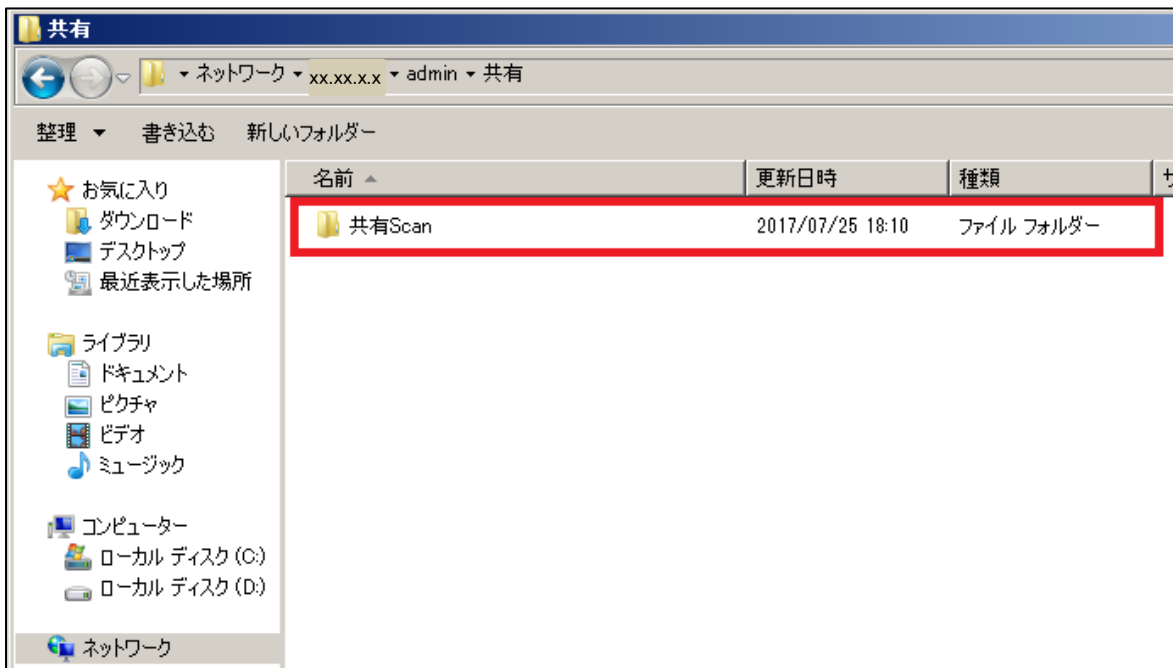
② admin フォルダ下のフォルダへデータを貼り付けます。



**※注意事項※**

admin フォルダ直下への新規フォルダの作成は、**必ず**管理画面上から行ってください。  
異なる方法で設定した場合、データが通常に保存・バックアップされない場合があります。

③ 必要なフォルダが復元されていることを確認します。



**※2 世代以上ご契約のお客様で、2 世代目以降のデータが必要な場合は、弊社サポートまでお問い合わせください。**

### 3. 旧バックアップ方式について

#### 3.1. バックアップ領域 — SMB-P コース (カスタマイズプラン) —

##### ■対応バージョン

Ver.2.0.4～2.0.7

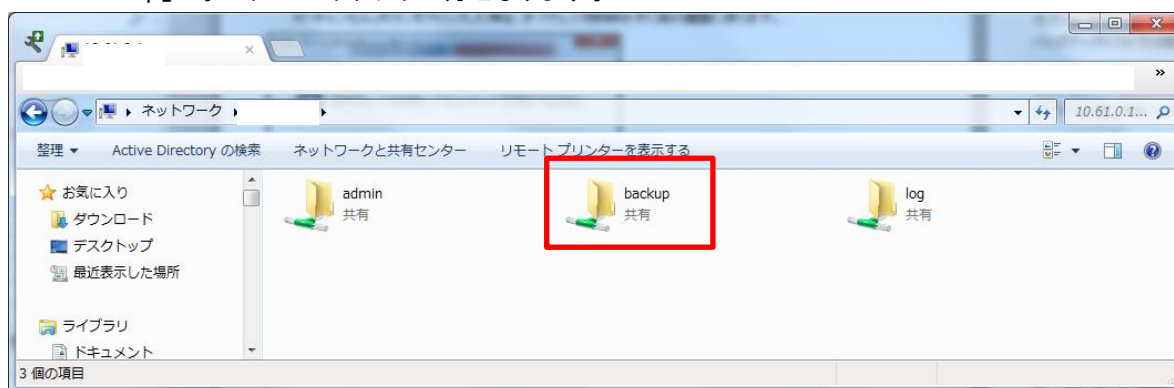
##### ■バックアップデータの確認 (SAMBA Remote/SAMBA Stunnel 接続の場合)

① 管理者権限で SAMBA Remote/SAMBA Stunnel に接続します。

※SAMBA Remote 接続については、利用者マニュアル『SAMBA Remote/ SAMBA Stunnel 接続』をご参照ください。

以下のように「admin」「backup」「log」の 3 種類のフォルダが表示されます。

「backup」フォルダがバックアップ分となります。

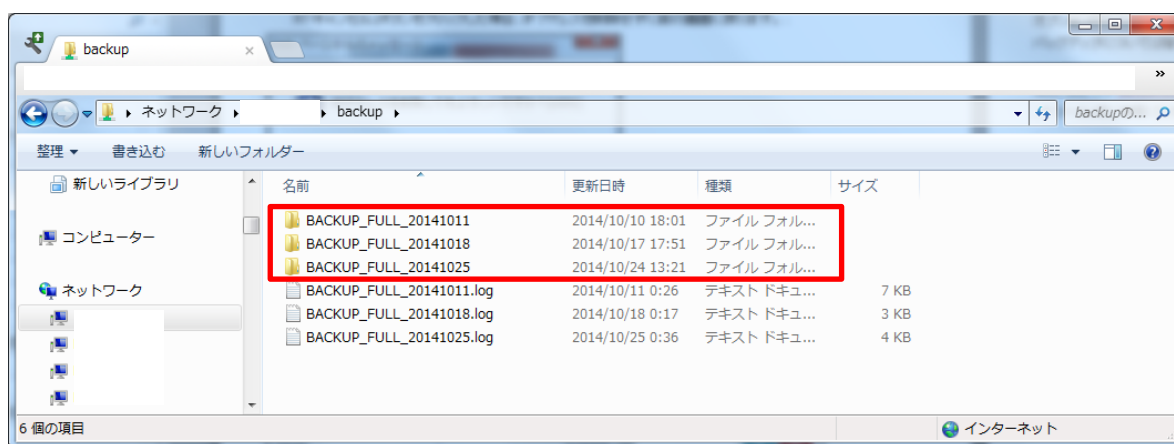


② 「backup」フォルダを開くと以下のように「BACKUP\_FULL\_yyyymmdd」フォルダが表示されます。

「yyymmdd」部分は、バックアップを行った日付が入っています。

例えば以下では、3 世代分のバックアップを 7 日間ごとに残している状態です。

このフォルダからファイルやフォルダを復元することができます。



## ■バックアップデータの確認（WebShare からの場合）

① 管理者権限で WebShare へアクセスします。

以下のように「admin」「backup」「log」の 3 種類のフォルダが表示されます。

「backup」フォルダがバックアップ分となります。



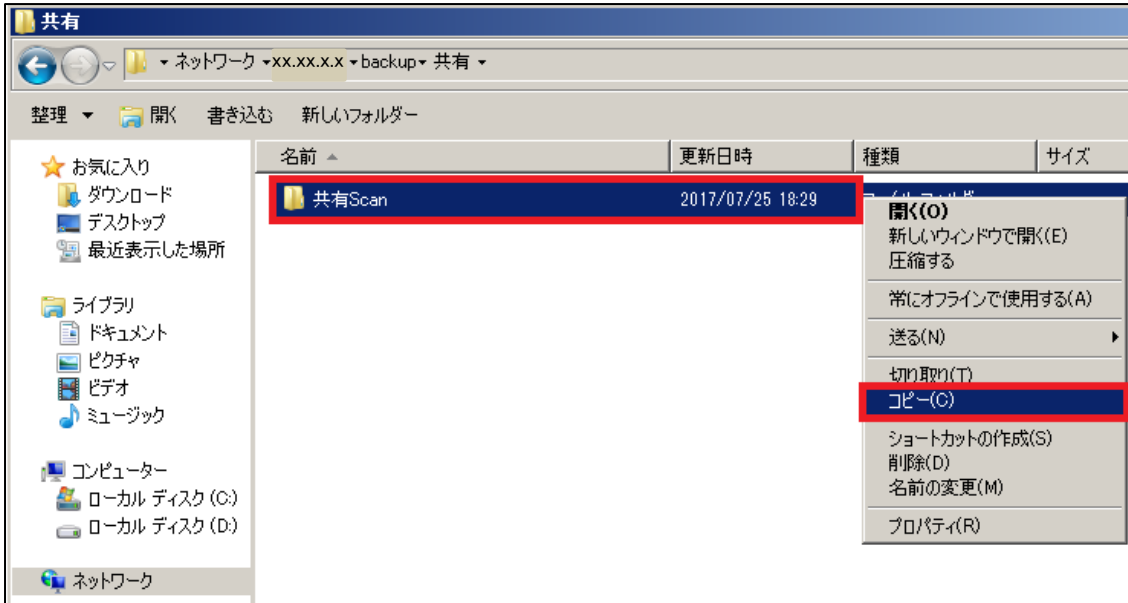
② 「backup」フォルダを開くとバックアップデータが表示されます。

バックアップが取得されていることを確認します。

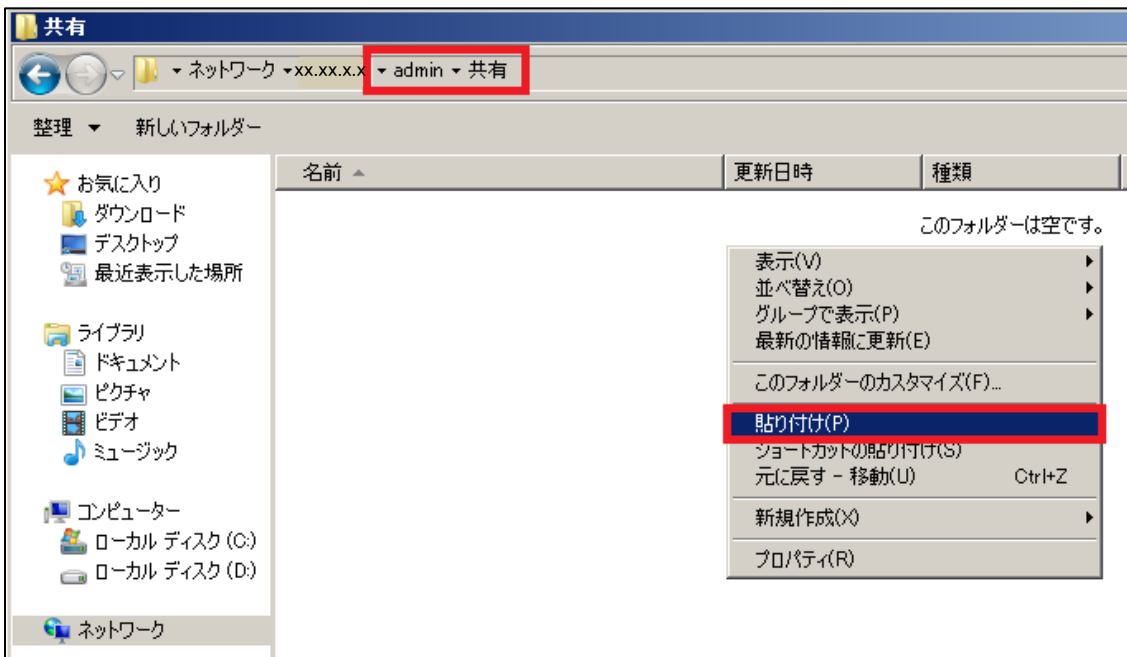


## ■バックアップデータの復元

① backup フォルダより復元をしたいフォルダを選択・コピーを実施します。



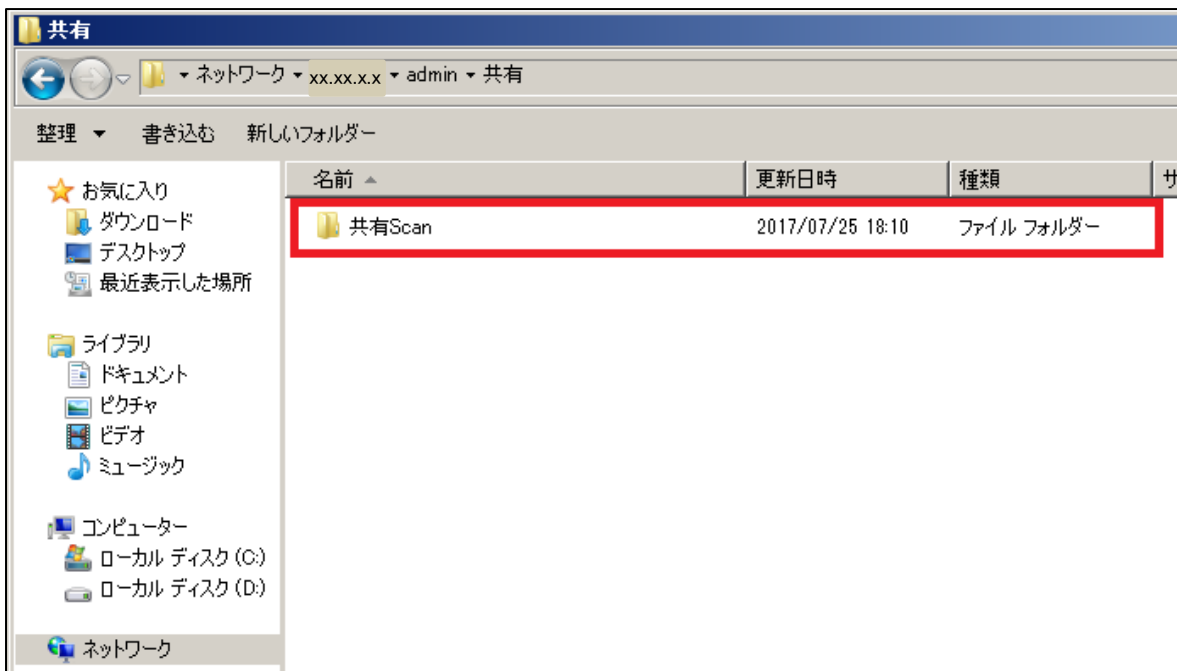
② admin フォルダ配下のフォルダへデータを貼り付けます。



### ※注意事項※

admin フォルダの直下への新規フォルダの作成は、**必ず管理画面上**から行ってください。  
異なる方法で設定した場合、データが通常に保存・バックアップされない場合があります。

③ 必要なフォルダが復元されていることを確認します。



以上